



## 事故防止テストの結果

# 靴用・靴下用使いすてカイロによる「やけど」に注意！ (靴用・靴下用カイロは腰に貼るカイロなどと異なり、使い方によっては高温になります)

靴用、靴下用使いすてカイロ（以下「靴用・靴下用カイロ」という。約6千万個／年 販売）は、靴の中で使用するカイロです。このカイロに関する苦情の中にはやけど（低温やけど<sup>(注1:裏面)</sup>を含む）で重篤な事態に陥ったという事例<sup>(注2:裏面)</sup>も報告されています。

そこで、市販の靴用・靴下用カイロの温度や、実際の使用状態での皮膚の温度等についてテストを行い、その結果を情報提供します。

### 1. テスト結果(靴用カイロ4銘柄、靴下用カイロ4銘柄)

(1) 靴用・靴下用カイロを実際に使用したところ、靴の中で足を暖める効果があることが確認できた。

一方、定められた使用方法を守らなかった（靴を脱いだ後も、カイロを靴下に貼り付けたままにしたなど）場合は、表示の最高温度（39～45℃）を上回り、皮膚の温度は46℃（安全のためテストを中止した時点での温度）、カイロ単体の温度は86℃に達することがあった。

また、使いすてカイロの規格(JIS S 4100：カイロの最高温度は70℃以下と規定)に基づき靴用・靴下用カイロの温度を測定したところ、カイロの最高温度が80℃に達するものがあった。<sup>(注3:裏面)</sup>

(2) テスト品の中には、使用上の注意表示が十分ではない（靴の中以外での使用など、やけどの恐れがあることを注意する表示がない）銘柄があった。

### 2. 業界への要望

消費者の安全のために必要な使用上の注意（靴の中以外で使用禁止など）について、これまで以上にわかりやすい表示を行うなどにより、やけど防止対策の強化を図ることを業界に求めていく。

### 3. 消費者へのアドバイス

(1) 靴用・靴下用カイロは、腰に貼るカイロなどとは異なる商品です。靴の中以外で使うなど使用上の注意を守らないと、腰に貼るカイロなどよりも温度が高くなる可能性があるため、やけどをする可能性があります。従って、必ず使用上の注意を守って使いましょう。もし、使用中に違和感（熱すぎるなど）を感じたときには、すぐに使用を中止しましょう。

(2) 外袋を開封するとすぐにカイロの温度が高くなるので、使用直前に開封しましょう。また、カイロを靴の中にしばらく放置した後で靴を履く場合、通常の使用状態に比べてカイロの温度が高くなっていることがあるので注意しましょう。

(3) 低温やけどは、見た目よりも重症の場合が多いので、早めに専門医の診察を受けましょう。血行障害のある人、皮膚感覚の低下している人などは、使用前に医師に相談するなど特に注意しましょう。

問合せ先：東京都消費生活総合センター技術支援課  
電 話：03-3433-8563

注1：低温やけどは、体温より高温のものを長時間体にあてているときに起こすやけどのことです。個人差もありますが、皮膚の温度を長時間 42～44℃以上にする  
と発症することがあるといわれています。長時間にわたって熱の影響を受ける  
ため、やけどが皮下の深い組織まで進行することが多く、見た目よりも治療に  
手間がかかることが多いといわれています。

注2：主な相談事例を下表に示します。

1	靴用使いすてカイロを1日12時間位2日間使用したら低温やけどした。病院へ行ったら入院をすすめられ入院した。
2	靴用使いすてカイロを腰に貼って使ったところ、非常に熱くなった。しばらくして外したが、肌が赤くなり痛い。購入店で、腰に貼っても大丈夫と言われたので使用した。最高41℃と書いてあるが、熱くなって外した時に温度計で計ると80℃以上もあった。
3	使用方法の表示通り、靴用使いすてカイロを貼り、靴下を2枚はいて使用。翌日は厚手の靴下1枚で使用し、500メートル位歩いたところやけどをした。
4	外出時、靴下を履いた上から両足の甲のつま先に靴用使いすてカイロを貼布。約30分で帰宅した後、そのまま家庭内で4時間30分過ごした。つま先に水疱ができ、病院で診察、低温やけどで右足薬指の先5ミリを切除。大腿部から皮膚移植。入院2ヶ月。
5	靴下用使いすてカイロを使用して、足の指の間をやけどした。
6	靴用使いすてカイロを表示通り使用したのに低温やけどした。

上記はパイオネット（全国消費生活情報ネットワーク・システム）によるもので、いずれも他県の事例です。

注3：靴用・靴下用カイロ（JIS規格外品）は、酸素の少ない靴の中での使用を目的として造られているので、通常的环境下で使用した場合は、靴の中よりも酸化反応による発熱が促進され高温になります。